

戦跡紹介

大阪砲兵工廠化学分析場(1919(大正8)年築)

大阪市中央区大阪城
戦前、大阪ビジネスパーク、
大阪城公園東側、森ノ宮
団地には大阪砲兵工廠と
呼ばれる陸軍用の大砲など
を造る大工場がありました。
終戦前日の1945(昭和20)年8月14日アメリカ軍の空爆
により、この一帯は壊滅的な被害を受け廃墟となりましたが、
当時をしのばせる建物が現在も大阪城公園の北西部に残
っています。



参考資料: 三宅宏司/著 「大阪砲兵工廠の研究」

ピースおおさか友の会 会員募集のご案内

戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝え「平和の首都」大阪の
実現をめざす『ピースおおさか友の会』会員を募集しています。

会員特典	1年間無料で入館でき、常設展示や特別展示などを自由に ご覧になれます。講演会・特別展示等の催し案内や館報 「ピースおおさか」を交付します。	
会費	個人会員 年額2千円 団体会員 年額1万円(1口) ※何口でも結構です。	
申込方法	・直接、事務局へ会費を添えて申込、若しくは現金書留で郵送 ・銀行振込(りそな銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行) ・郵便局振込	

ピースメッセージ

ピースおおさかに来られた方から寄せられた
ご意見・ご感想の一部をご紹介します。

- 展示室の充実を今後とも希望します。忘れてはならない、残すべき
戦争の恐ろしさを伝えてください。いつまでも日本が平和であります
よう祈らざるえません。 大阪府藤井寺市(84歳)
- 平和の大切さを知りました。世界が平和になるには、まず身近にいじめ・
差別をなくすということだと思いました。私も身近にできることなので絶対
なくしたいです。戦争も絶対いややと思った!そして小さなあかんと思う!
大阪市(16歳)
- これまであった戦争のことを知り、考えていくことも大切だと思うけれど、
これからのこと、各地で起こっている紛争、それによる貧困、そして
地域の発展により悪化してきた環境問題について、考えていかなけれ
ばならないと思いました。 兵庫県尼崎市(20歳)
- 戦争体験について知ることができ理解できました。父から戦争に行っ
たことの話聞き、母からも聞いていました。また、父は戦争に負けて
シベリアで重労働した経験があると言っていたことを、今も記憶に
残っています。戦争が起こらないようお祈りします。
大阪府東大阪市(52歳)
- コーナーごとのビデオがすばらしい。また、空襲体験画に感動しました。
(原文は英語) オーストラリア(53歳)
- インターネットで貴館を知りました。英語圏の我々でもよくわかる展示で
した。ありがとうございます。(原文は英語) イギリス(70歳)
- ピースおおさかの建物の設計者を知っていたので、来館しました。
大変すばらしい施設だと思います。(原文は英語) イラン(55歳)
- 大変興味深い内容がうまく展示されています。(原文は英語)
ベルギー(17歳)

寄贈品紹介

●陸軍軍帽

一般兵用の軍帽ですが、
将校用のものと大きな違い
はありません。この種の
軍帽は、1905(明治38)年
に採用されてからは、終戦
まで変化が少ないものでした。鉢巻の部分が赤いため、
野戦では使用に適さず、代わりに戦闘帽とも呼ばれた
略帽を多く用いました。日本陸軍では、赤色は
歩兵を表しますが、他の兵種でもこの軍帽をかぶって
いました。



清水 加世子氏 寄贈
(サイズ:240×220×120mm)

ピースおおさか ミュージアムショップ オリジナルグッズの紹介

常設展示を解説した「展示の
てびき」や来館記念・お土産として
「缶バッジ」「キーホルダー」
「Tシャツ」「ランチクロス」など、
オリジナルグッズを販売しています。



資料寄贈者 2007.4.1～2007.8.31(敬称略)

団体

愛知県史編さん室	東村山ふるさと歴史館
明石書店	ひめゆり平和祈念資料館
大阪堂島ロータリークラブ	ヒューライツ大阪
大阪歴史博物館	広島大学平和科学センター
呉市海事歴史科学館	広島平和記念資料館
堺平和のための戦争展実行委員会	平和祈念事業特別基金
シーズ・プランニング	明治学院大学国際平和研究所
昭和館	立命館大学国際平和ミュージアム
世界人権問題研究センター	NO DU ヒロシマ・プロジェクト
非核の政府を求める大阪の会	

個人

今井弘子	岸田 修	橘 隆	福田 勝	山田憲政
井邊道子	窪 順三	ちばてつや	福山琢磨	山田裕美
上田照子	久保三也子	津田 登	堀井 滋	山田康博
近江始太郎	小泉禎男	長倉洋海	前田須美子	芳中正夫
小田康徳	坂井尚美	西村 弘	松岡弘之	
小野賢一	阪口繁昭	浜田 稽	村田陽一郎	
片岡美知子	清水加世子	林 義久	八木田さと子	
川村耕一	下岡武三郎	日笠俊男	山上隆三	

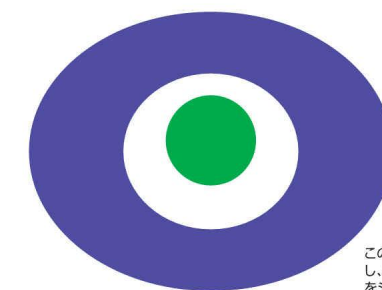
資料収集にご協力ください

ピースおおさかでは、戦争と平和に関する資料及び資料に
関する情報を収集し、調査・研究に役立て、後世に伝えていく
ため大切に保存しています。この意義をご理解いただき、資料
収集にご協力くださいますようお願いいたします。

●問い合わせ先●

ピースおおさか

〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号
TEL.06-6947-7208
FAX.06-6943-6080



ピースおおさか
OSAKA INTERNATIONAL PEACE CENTER

2007 9/30
(平成19) No.38

編集・発行/財団法人 大阪国際平和センター
〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号
TEL.06(6947)7208 FAX.06(6943)6080
ホームページ <http://www.peace-osaka.or.jp>

このマークは、宇宙・地球・大阪を示
し、平和が大阪から発信されること
をシンボライズしたものです。

展示事業 特別展

「守りたい、子どもの命、子どもの未来!」
～アグネス・チャンが見た世界・紛争下の子どもたち～

期 間: 4月20日(金)～6月24日(日)(計55日間)

協 力: 長倉洋海、鎌田俊三、大石容子、日本ユニセフ協会、新日本出版社、偕成社

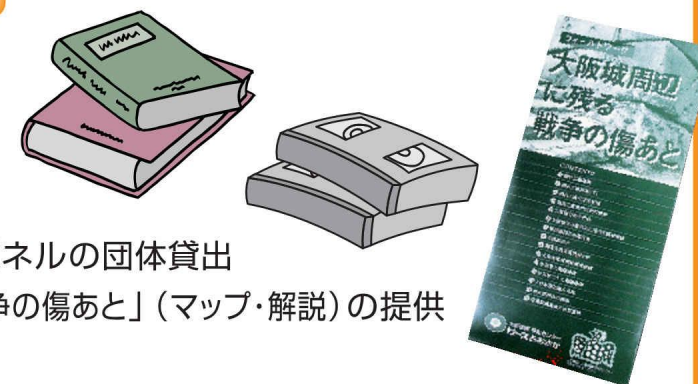
参加者: 12,219名

イラク、モルドバ及びアフリカのレスト
王国を訪問したアグネス・チャンさん(日本
ユニセフ協会親善大使)や長倉洋海
(写真家)さんによるコンボの写真パネル、
創作絵本「カメラを食べたゾウ」の絵本
パネルで、現地の生々しい戦争の傷跡や
深刻な状況におかれている女性や子ども
たちの様子を伝えながら、平和に向けて
何を創ることができるのかを考える機会と
して開催しました。



ピースおおさか ご利用案内

- ◆団体見学の申込受付
- ◆戦争と平和に関する展示・映画上映
- ◆「空襲体験のお話」講師の紹介
- ◆ビデオ・DVD・図書資料の閲覧
- ◆平和学習用16ミリ映画・ビデオ・写真パネルの団体貸出
- ◆「フィールドワーク 大阪城周辺に残る戦争の傷あと」(マップ・解説)の提供
- ◆戦争と平和に関する資料の寄贈受付



■開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)
■休 館 日 月曜日、国民の祝日の翌日(月曜日が祝日の場合、
翌日の火曜日は開館)、月末・年末・年始

■入 館 料 大人250円、高校生150円(中学生以下、65歳以上及び障がい者の方は無料)
■交 通 JR環状線・地下鉄「森ノ宮」駅下車西へ約400m

展示事業

特別展

「戦時下の大阪 ないないづくしの戦争展」

期 間：7月5日  ～ 9月16日  (計62日間)

参加者：11,359名

1937(昭和12)年、中国の盧溝橋で日本軍と中国国民党軍が衝突し、これを機に日中両国は戦争状態に突入しました。さらに1941(昭和16)年12月8日、日本軍はマレー半島とハワイの真珠湾を攻撃し、アメリカやイギリスを始めとする連合国との全面的な戦争に発展していきました。これにより、国内は戦争一色に染まり、次第に戦局が悪くなるにしたがって食糧や衣服などの生活必需品も極端に不足し、英語の使用禁止や様々な行事の中止など言論や活動の自由も制限されました。

戦争は、人々から様々なものを奪い、人々の生活を一変させます。この特別展では、ピースおおさかの所蔵資料を中心に200点を展示し、戦争によりなくなっていく「もの」や「こと」を通して、戦争と暮らしについて考える機会として開催しました。



企画事業



8・15終戦の日平和祈念事業

ちばてつや講演会

「私のマンガと戦争体験
～「満州」からの引揚げと平和への想い～」

講演会

講 師：ちば てつや (本名：千葉徹弥。漫画家・文星芸術大学教授)

日 時：8月12日  午後2時～4時

参加者：286名

ちばてつや作品展 8月1日  ～ 15日 

ピースおおさか2007(平成19)年度前半の事業報告

4月より9月までの主な事業の様子を報告します。

21世紀の平和を考えるセミナー

《第26回》

「カメラは見た、コンボ復興のいぶき

～ザビット一家、家建てる
～コンボで見つけた5年間～」

講 師：長倉 洋海 (写真家)

日 時：6月23日  午後2時～4時

参加者：120名



《第27回》

「紛争処理の現場から国際貢献の今を語る!

～アジア・アフリカで平和をつくる仕事を指揮して～」

講 師：伊勢崎 賢治
(東京外国語大学地域文化研究科教授)日 時：9月29日  午後2時～4時

参加者：101名

21世紀の子どもたちへおくる
平和のつどい

「ストロー笛コンサート」

演奏者：神谷 徹
(大阪音楽大学講師)日 時：7月21日  午後2時～3時

参加者：192名



夏休みアニメ映画会

参加者：193名

7月22日 	「一つの花」、「アンネの日記」他
24日 	「白旗の少女琉子」
25日 	「地球が危ない」他
26日 	「ぞう列車がやってきた」
27日 	「手塚治虫物語 ぼくは孫悟空」

ピースおおさかのいろんな形の屋根

平和とは、多様なものが相互に認め合って同時に存在し得る世界であることを表現しています。

企画事業

教員のための「平和学習」講座

参加者：62名 (Aコース35名・Bコース27名)

日時 (Aコース)	内 容	講 師
8月1日  午前10時～12時 午後2時～4時	「大阪大空襲を伝える」 ～大阪大空襲の証言～	伊賀孝子 (大阪戦災被害者・遺族の会代表)
	ピースおおさかの 概要説明と施設見学	ピースおおさか 職員
8月2日  午前10時～12時 午後2時～4時	「大阪城公園内に残る 空襲跡を歩く」 ～フィールドワーク～	三宅宏司 (武庫川女子 大学教授)
	「子どもたちに平和を どう伝えるか」 ～平和学習ワークショップ～	奥本京子 (大阪女学院 大学准教授)

日時 (Bコース)	内 容	講 師
8月1日  午前10時～12時 午後2時～4時	ピースおおさかの 概要説明と施設見学	ピースおおさか 職員
	「大阪大空襲を伝える」 ～大阪大空襲の証言～	久保三也子 (大阪大空襲の体 験を語る会代表)
8月2日  午前10時～12時 午後2時～4時	「子どもたちに平和を どう伝えるか」 ～平和学習ワークショップ～	村上登司文 (京都教育大 学教授)
	「大阪城公園内に残る 空襲跡を歩く」 ～フィールドワーク～	三宅宏司 (武庫川女子 大学教授)

フィールドワーク

「空襲あとを訪ねる～淀川両岸の街の様子～」

講 師：水野 信男 (北区郷土史家)
西俣 稔 (毎日文化センター「古地図で散歩する大阪」講師)日 時：6月17日  午前9時30分～12時

参加者：46名



1945(昭和20)年、梅田や十三地域では数度にわたる空襲により、大きな被害を受けました。B29爆撃機による爆弾及び焼夷弾の投下、戦闘機の機銃掃射により、市街地は焼け野原となり、多くの市民が逃げまどい死傷しました。空襲で被災した地域を歩き、戦時中の様子や戦争による被害を知るとともに、平和の尊さについて考える機会となりました。

ウェークエンド・シネマ

参加者：358名 (13日間)

8月	9月
「はだしのゲン」	アニメ「かんからさんしん」
「はだしのゲンPART2～涙の爆発～」	「ピキニの海は忘れない」
「はだしのゲンPART3～ヒロシマのたたかい～」	「ひめゆりの塔」
アニメ「火垂るの墓」	「きけ、わだつみの声」

16ミリ映画・ビデオ・写真パネルの貸出

地域や学校での平和学習に、16ミリ映画フィルムやビデオ・写真パネルをご利用ください。無料で8日間利用できます。